



はなみずき

学校教育目標

「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

ご入学 ご進級 おめでとうございます



校長 鈴木克彦

暖かな春の訪れを感じ、校庭の満開の桜とともに、生命の息吹を感じる新緑が、芽吹き始めています。今年度より、所沢市立北小学校の校長となりました、鈴木克彦（すずき かつひこ）と申します。保護者・地域の皆様には、日頃より、本校の教育活動に対し、多大なるご支援・ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。今年度も、本校の**学校教育目標「なぜだろう（知） これでよいのか（情） さあやるぞ（意）」**のもと、子供たちが安全・安心に学校生活を送り、豊かな心の育成に向けて取り組んでまいります。

よろしくお願ひいたします。

本日、無事に令和7年度がスタートすることができました。お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。



さて、今年度は、全校児童621名と63名の教職員で出発しました。

また、多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、保護者のみなさま、6年生と本校教職員が参加し、夢と希望に胸を膨らませたピカピカの1年生92名をお迎えして、無事に入学式を挙行することができました。

入学式の前には、令和7年度の第1学期始業式を行いました。北小学校の子供たちを見ていて、新しい友達や先生との出会いに目を輝かせ、立派な態度で参加をしていました。その姿を見ていて、「北小学校の校歌にある『仲良く遊び よく学ぶ』を実現し、みんなが主役となってたくさんの学校行事を成功させ、みんなが大好きな北小学校を創っていってくれる」と感じ、ワクワクとともにうれしく思いました。

始業式の中で、「当たり前のことと当たり前に」「あいさつ」についてお話をしました。

「当たり前のことと当たり前に」は、簡単そうだけど、できていないことがあるかもしれません。改めて、自分ができていること・できていないことを意識し、北小学校のきまりを守って生活してほしいと思います。



「あいさつ」は、人と人をつなぐ魔法の言葉です。「あいさつ」をされると心が温かくなり、一日が気持ちよくスタートできます。また、「あいさつ」を返されると、「あいさつ」した人も、うれしい気持ちになります。言われたからやるのではなく、自分から自然に「あいさつ」ができる子供たちになってほしいと思います。

今年1年間、この2つを意識して、「なぜだろう これでよいのか さあやるぞ」、自分で考えいろいろなことに挑戦（チャレンジ）・行動し、自分を変え（チェンジ）て、心も身体も大きく成長をしていってほしいと思います。

保護者・地域の皆様とともに培ってきた北小学校の伝統をこれからも継承し、**「人のために 教職員も子供も笑顔で 尊敬し合い（愛）協力し合い（愛）学び合う（愛）安全安心な学校」**を合言葉に、一人一人の児童を大切に、職員一丸となって教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、変わらぬ温かなご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。